

研究者情報

氏 名	三瓶千香子
役 職	桜の聖母短期大学 准教授および 生涯学習センター長
所 属	キャリア教養学科
最 終 学 歴	上智大学大学院文学研究科博士課程前期（教育学専攻）
学 位	教育学修士
専 門 分 野	生涯教育学
所 属 学 会	日本ウェルネス学会
主要担当科目	「人間と教育 A」「プランニング入門」「生涯学習概論」「キャリア形成論」「地域形成論」「イベントの企画」など
研 究 課 題	生涯学習、地域づくり、生きがいつくり、高等教育、大学開放論、アクティブラーニング

研究業績／教育実績(主な著書・論文)

区 分	著書・論文名等	発行所・掲載誌(書)・著書等	発行 等年 月
著 書	・香川正弘・鈴木眞理・永井武夫編 『よくわかる生涯学習』（改訂版第1刷）	ミネルヴァ書房	平成 28 年 5 月 20 日
	・上杉孝實・香川正弘・河村能夫編 著『大学はコミュニティの知の拠点となれるか』	ミネルヴァ書房	平成 28 年 9 月 20 日
論 文	・「存在を問われている今こそ、短期大学は大学開放を」	全日本大学推進機構「UEJ ジャーナル」第 1 号、 http://www.uejp.jp/pdf/journal_01/01/3_sanpei.pdf	平成 23 年 7 月
	・「全国初の高等教育機関主催『子ども司書』養成講	桜の聖母短期大学『桜の聖母短期大学紀要』第 36 号、 159-171 頁。	平成 24 年 3 月

	座—生涯学習の側面からの一考察—」(The Report on the First “ Junior Librarian ” Program Report at a Japanese Institution of Higher Education - A study of a Life-long Learning Program-) ・「3.11 東日本大震災と生涯学習—心をつなぐ生涯学習センター—」 ・「傾聴ボランティアを福島『福幸』につなぐ」 (A Trial to Connect Voluntary Peer Counselors to the Revitalization in Fukushima) ・(論文) 「プロジェクト型教育を震災復興へつなげる—	『人間学研究所所報』第 17 号、桜の聖母短期大学人間学研究所、1-8 頁。 特定非営利活動法人全日本大学開放推進機構『UEJ ジャーナル』第 8 号 http://www.ue.jp.jp/pdf/Journal_08/r02.pdf 桜の聖母短期大学『桜の聖母短期大学紀要』第 37 号、2013 年 3 月、207-221 頁。	平成 24 年 3 月 平成 24 年 10 月 平成 25 年 3 月
--	--	---	---

	「移動文化祭」プロジェクトという試みー」 （ Link Up a Project Style Education to Reconstruction Support — A Trial Project “ Traveling Cultural Festival in Minamisoma City” —） ・「福島を照らす『こけし』のほほえみと“福幸”」 ・「まなぶ。つなぐ。～生涯学習センターの使命～」 ・「OECD 国際成人力調査から考える我が国の生涯学習社会の構築」 （ A Study to Construct a Lifelong Learning Society in Japan from the standpoint of the OECD Programme for the	『人間学研究所所報』第 18 号、桜の聖母短期大学人間学研究所、32-41 頁。 日本青年館『社会教育』7 月号、44-47 頁。 桜の聖母短期大学『桜の聖母短期大学紀要』第 38 号、2014 年 3 月、151-164 頁。	平成 25 年 3 月 平成 25 年 7 月 平成 26 年 3 月
--	---	---	--

	International Assessment of Adult Competencies) ・『『地元の声を聞いて大学は何ができるか』への回答～ふくしま再生シンポジウムの参加報告として～』 ・「生涯学習の観点から見るアクティブラーニングの有効性に関する一考察～『イベントの企画』実践を通して～」 (A Study of the Effectiveness of Active Learning from the Point of View of Life-long Learning — Through a Subject “ Planning Event ” Practice —) ・「地域の未来を創る『福島復興講座』と『傾聴ボラ	『人間学研究所所報』第 19 号、桜の聖母短期大学人間学研究所、33-47 頁。 桜の聖母短期大学『桜の聖母短期大学紀要』第 38 号、2015 年 3 月、55-74 頁。 『人間学研究所所報』第 19 号、桜の聖母短期大学人間学研究所、1-19 頁。	平成 26 年 3 月 平成 27 年 3 月 平成 27 年 3 月
--	--	--	--

	ンティア養成講座』～桜の聖母生涯学習センター3年間(2012年度～2014年度)の取り組み～ ・「地域住民と出会うファースト・ミート・ステージ機会の創造を～生涯学習社会において中核的な学び舎になるために～」 ・「『福島学』から“21世紀型の青年”を育てる～2015年度高大連携プログラムを中心に～」 ・「地方創生のコアとしての「傾聴ボランティア養成講座」～福島の課題ニーズに応える取り組みの事例として～」 ・「アクティブラーニングの試行に向けた先進的学習空間視察」	日本私立短期大学協会『短期大学教育』第71号、35-40頁 日本青年館『社会教育』10月号、18-23頁 全日本大学開放推進機構『UEJジャーナル』第18号、 http://www.uejp.jp/pdf/journal/18/18_1a.pdf 桜の聖母短期大学『桜の聖母短期大学紀要』第40号、1-31頁。	平成27年4月 平成27年10月 平成28年1月 平成28年3月
--	---	---	--

	(An Observation Report of Advanced Learning Area for Active Learning Trail) ・「これからの『福島学』の位置づけに関する一考～2012年度からの4年間を振り返って～」 ・「イベント企画を通じて学生が獲得した能力のテキストマイニング分析－アクティブラーニングの有効性の模索－」(Analysis of Student Abilities through the Use of Text Mining for Event Planning – An Attempt at Analyzing the Effects of Active Learning) ・「生涯学習支援から考える大学機能の拡充案～	『人間学研究所所報』第21号、桜の聖母短期大学人間学研究所、13-25頁。 桜の聖母短期大学『桜の聖母短期大学紀要』第41号、125-144頁。 『人間学研究所所報』第22号、桜の聖母短期大学人間学研究所、27-45頁。	平成28年3月 平成29年3月 平成29年
--	---	---	--

	地域における大学のエンゲージメントを目指して～」 ・『『若者はなぜ学習センターを利用しなくなったのか』考～“若者の声を届ける”官民学連携プロジェクト～」	日本青年館『社会教育』5月号、52-59頁	3月 平成29年5月
教科書			
各種GP申請(採択)			

主な社会貢献活動

社 会 貢 献 活 動	活動年月日
福島県生涯学習審議会	平成27年2月～現在
福島市生涯学習を進める市民会議	平成27年2月～現在
福島市「アクティブシニアセンター」コア会議 企画アドバイザー	平成21年8月～現在
日本青年館 評議員	平成27年4月～現在
文部科学省第8期中央教育審議会生涯学習分科会学習成果活用部会専門委員	平成27年4月～平成28年3月
一般財団法人短期大学基準協会 第三者評価員	平成27年6月～平成28年3月
KFB 福島放送 番組審議委員	平成24年10月～現在

南相馬市教育振興基本計画策定委員会 学識者委員	平成 27 年 1 月－平成 28 年 3 月
全国生涯学習ネットワークフォーラム福島大会実行委員	平成 27 年 6 月-11 月
福島県明るい選挙推進協議会委員	平成 29 年 3 月-現在

特別研究

テーマ／概要	生涯学習・自己づくり・地域づくり
特別研究内容	「生涯学習」を軸とする研究を行う。学ぶとは何かを追究することで、知と知、知と人、人と人、人と地域という様々なつながりの重要性、財産性、そしてその魅力を明らかにする。教育学、心理学、社会学、地域づくりをテーマにすることが多いが、生涯学習そのものが広い概念のため、多様かつ多角的なテーマ設定が可能なことが特徴の特別研究である。